

山梨大学

2026年度

海外留学 プログラム

study abroad program



INDEX

1. 山梨大学の海外研修・交換留学制度について

- ・ケンタッキー大学
- ・ノーザン・アイオワ大学
- ・レスター大学
- ・ブリティッシュ・コロンビア大学イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート
- ・カンボジアのグローバルヘルス課題解決に取り組む共同フィールドワーク
- ・杭州電子科技大学、釜慶大学校、マレーシア・ペルリス大学
(A3I: アジア実問題解決駆動 AI 教育プログラムショートプログラム)

2. 夏季・春季海外研修の紹介

3. 交換留学の紹介

- ・交換留学先大学一覧
- ・交換留学生体験記

4. 留学の年間スケジュール

5. 国際化推進センター・グローバル推進課について

海外研修・交換留学制度について

山梨大学には、下記2種類の海外留学プログラムがあります。

①**海外研修**：留学の第一歩として、語学研修や文化体験を主目的としたプログラム：2～5週間

②**交換留学**：さらにステップアップして学ぶためのプログラム：5～12か月

海外研修・交換留学へのステップ

①海外研修

2～5週間の語学研修・異文化体験を通して、語学力やコミュニケーション能力を養います。

申込

派遣学生の
選考

決定

事前授業

出発！

②交換留学

1学期～1年間の期間で本学に在籍したまま、留学先の授業を履修できます。
専門分野の授業など現地の学生とともに学ぶことができます。

語学試験等
の準備

申込

派遣学生の
選考

決定

ビザ申請

海外研修・交換留学で単位取得！

海外研修	- 全学共通教育科目 外国語科目群 2単位 (本人の申請により修了証書等の提出に基づき、単位認定が可能です(ただし対象プログラムのみに限定)) - 全学共通教育科目 展開科目群 国際理解科目 「海外で学ぼう-海外研修・交換留学Gateway I / II」 1単位
交換留学	- 全学共通教育科目 展開科目群 国際理解科目 「海外で学ぼう-海外研修・交換留学Gateway I / II」 1単位 - 交換留学先で履修した授業科目については、所定の手続きを経て、山梨大学の所属学部または大学院で単位認定を受けることが可能です。

充実した奨学金サポート！

山梨大学では、山梨大学が主催する海外研修・交換留学に参加する学生をサポートする奨学支援金制度があります。条件を満たす学生は奨学金を受給して渡航することができます。参加者の多くの方が奨学金を受給しています。

返済の必要がない奨学金として、日本学生支援機構(JASSO)の給付型奨学金、山梨大学秋山勝彦グローバル人材育成奨学支援金(工学系・医学系の学生対象※医学系は学部生のみ)、山梨大学留学応援プログラム、トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム、山梨県若者海外留学体験人材育成事業(山梨県大村智人材育成事業)等があります。

費用と奨学金の例(海外研修)

プログラム名	期間	参加費※1 (旅行代金、授業料、 宿泊費、保険料等)	奨学金※2 (要件を満たした場合、2種類の奨学金が併給可能)
ケンタッキー大学 (米国)	5週間	約97万円	12万円 秋山奨学金 工学部対象 15万円 秋山奨学金 医学部対象(学部生のみ) 7万円 山梨大学留学応援プログラム
ブリティッシュ・コロンビア大学 イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート (カナダ)	4週間	約89万円	11万円 日本学生支援機構(JASSO) 12万円 秋山奨学金 工学部対象 15万円 秋山奨学金 医学部対象(学部生のみ) 7万円 山梨大学留学応援プログラム

※1 為替レートや物価変動によって金額が変わります。この金額は令和7年度の実績です。

※2 年度・学部・派遣先国によって、奨学金の金額が変動します。詳細は各プログラムの募集要項にてご確認ください。



ケンタッキー大学英語・文化研修

📍 米国 ケンタッキー州 レキシントン市



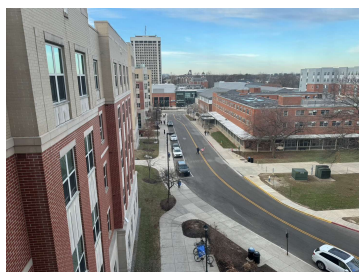
時期 2~3月 | 期間 5週間 | 費用 約96万円

大学について

ケンタッキー大学は1865年に設立され、U.S. News and World Report誌によれば同州最高の学術研究機関でありながら、スポーツも盛んで、男子バスケットボールでは多くのNBA選手を輩出しています。

研修内容

ケンタッキー大学の Center for English as a Second Language (CESL)での英語・文化研修に参加します。毎日リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの各授業にて、コミュニケーションに必要な語学力の習得を目指します。英語の授業のほか、現地の学生との交流活動も行われる予定です。渡航前、渡航後にも1回ずつオンラインにて現地学生との交流を行います。



参加者の声（工学部メカトロニクス工学科 日野 匠海さん）

留学を意識し始めたのは大学に入ってG-フィロソのガイダンスを受けた時です。その時にUKの生活の様子を見て楽しそうだなと感じたことがきっかけで、留学をしたいと思うようになりました。

UKではGrammar、Writing、Reading、Listening/Speakingの四つの授業を一日に全て受けます。一回の授業は45分か70分で曜日によって違います。クラスでは先生方が名指しで大丈夫？わかった？など聞いてくださるため、わからないまま進むことはほとんどありませんでした。とにかく現地学生みんなが明るくて優しく、どんな些細なイベントや一緒に課題をするだけでも毎回誘ってくれました。彼らとともに楽しいキャンパスライフを過ごすことができました。また、印象的だったのはカフェでの注文や話しかけられた時に段々とスムーズに話せるようになったことです。

留学を考えている人にメッセージ

僕は行ってから一年以上経ちますが未だに連絡を取っている友達が何人かいたり、留学後にケンタッキー州に旅行でも行ってその友達と会ったりもしました。英語力が上がり友達もできる、そんな最高の留学を皆さんにも経験してほしいです！不安なことたくさんあると思いますが、国際化推進センターのスタッフの方々や英語カフェの先生方は優しく悩み相談に乗ってくださるので、少しでも行きたいと思ったら話だけでも聞きに行ってみてほしいです！



授業スケジュール（参考例）



UK Founders Day Festival

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday
9:00 AM	Class 1 9:00 AM - 9:50 AM	Class 1 9:00 AM - 10:15 AM	Class 1 9:00 AM - 9:50 AM	Class 1 9:00 AM - 10:15 AM
10:00 AM	Class 2 10:00 AM - 10:50 AM	Class 2 10:30 AM - 11:45 AM	Class 2 10:00 AM - 10:50 AM	Class 2 10:30 AM - 11:45 AM
11:00 AM	Lunch	Lunch	Lunch	Lunch
12:00 PM	Class 3 12:00 PM - 12:50 PM	Class 3 12:30 PM - 1:45 PM	Class 3 12:00 PM - 12:50 PM	Class 3 12:30 PM - 1:45 PM
1:00 PM	Class 4 1:00 PM - 1:50 PM	Class 4 2:00 PM - 3:15 PM	Class 4 1:00 PM - 1:50 PM	Class 4 2:00 PM - 3:15 PM
2:00 PM				
3:00 PM				



ノーザン・アイオワ大学英語・文化研修

📍 米国 アイオワ州 シーダーフォールズ市



時期 8~9月 | 期間 5週間 | 費用 約90万円

大学について

現在のノーザン・アイオワ大学は1967年に設立されました。教員の養成を行う大学としてスタートし、今では90以上の多種多様な専攻があります。また、ウェルネスレクリエーションセンターやシアターなど施設が充実していることも大学の魅力の1つです。

研修内容

The Culture and Intensive English Program (CIEP)における英語・文化研修やイベントへの参加に加え、1週間のホームステイに参加します。CIEPでの4週間の語学研修では、習熟度に合わせて英語レッスンを受講します。ホームステイや周辺地域への小旅行等を通して、アメリカ文化を体験します。



参加者の声（生命環境学部生命工学科 倉澤 陽平さん）

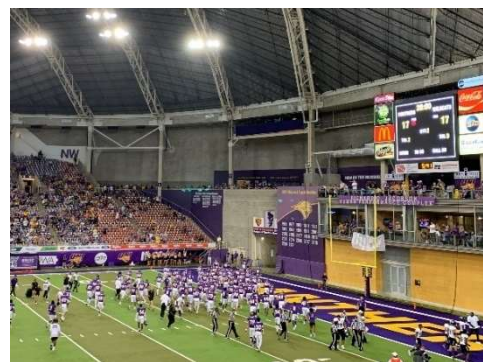
山梨大学に入学してから留学や海外研修プログラムについてのお話を伺い、海外でのホームステイや大学での勉強を経験することで知見を広げたいと思い、海外研修に参加しました。また大学の留学へのサポートも充実していたので在学中に一度行ってみようと思いました。

1週間のホームステイ期間中には、現地企業の訪問の他にもステートフェアに行ったり、甲府市とデモイン市の交流会に参加したりと、多くの貴重な経験をすることができました。また大学では、サッカーやアメフトなどの試合を観戦したり、親しくなった学生とテニスや外食に行ったりと、非常に充実した時間を過ごすことができました。

英語の授業では、文法の勉強やエッセイの書き方を学び、プレゼンテーションや討論の練習をしたりしました。授業では英語の能力はもちろん、扱われる様々な種類のテーマに対しての明確な意見とそれを積極的かつ迅速に表現することが求められており、普段とは一味違った授業を体験することができました。また先生方をお願いし、空いた時間に自分の専攻分野に関連した学部の授業に参加することもできました。

留学を考えている人にメッセージ

留学中にはプログラムで設定された活動以外にも、自分が興味深いと感じたことに挑戦する機会が非常に多くあります。様々なものに意識を向け、何か面白そうだと感じた時には積極的に行動することで、短期間でも多くの経験を積むことができ、留学の意義も大きく変わります。語学力の向上や現地の文化を体験したい方、プログラムへの参加を検討してみてください！



プログラムスケジュール（参考例）

	MON	TUE	WED	THU	FRI
W1	- Principal Financial Group - Visit Sculpture Park and Art Center	- Tour at State Capital - NGO (DMARC/Iowa Food Bank/etc)	- Tour of Bridgestone - Tour of World Food Prize	- Iowa State Fair - Free time at the Fair	- Kemin Industries - Meeting with Iowa Sister States Yamanashi Committee
W2	- Orientation - English Placement Exam - Informational Session	- CIEP Classes - Talk Tuesday - Safe Behavior	- CIEP Classes - RSVP Discussion - Welcome reception	- CIEP Classes - Rod Library Tour	- CIEP Classes - International Student Welcome Picnic
W3	- CIEP Classes - College Life Lecture	- CIEP Classes - International Marketing Lecture	- CIEP Classes - RSVP Discussion - Northeast Iowa Food Bank	- CIEP Classes - Class Observation / Class Exchange	- CIEP Classes - Coffee Hour with the Botanical Center
W4	- CIEP Classes - John Pappajohn Entrepreneurial Center	- CIEP Classes - Afternoon Activities	- CIEP Classes - RSVP Discussion	- CIEP Classes - Tour John Deere	- CIEP Classes - Coffee Hour
W5	- CIEP Classes - Lab	- CIEP Classes - BBEA Collaboration in JPEC Lounge	- CIEP Classes - RSVP Discussion - Free time	- CIEP Classes - Lab	- CIEP Classes - Coffee Hour & Farewell Party



レスター大学 英語・文化研修

📍 英国 イングランド中部 レスター市



時期 8月 | 期間 3週間 | 費用 約77万円(+生活費等約10万円)

大学について

レスター大学は、1921年に設立された、英国で最も古い伝統を誇る大学のひとつです。研究教育両面で高いレベルを誇っており、イギリス有数の総合大学です。学生の満足度において全英1位を獲得したこともある、英国屈指の名門大学です。



研修内容

レスター大学のキャンパスにあるEnglish Language Teaching Unit (ELTU) において実施されている、①英語・文化プログラム、②医学系学生向けプログラム、③人文系英語プログラムのいずれかのプログラムに参加し、英語力とコミュニケーション・スキルの向上や英国文化体験を行います。

参加者の声

(生命環境学部 地域社会システム学科 橋爪 遥那さん)

大学生のうちに留学してみたいなと考えていたところ、英語力に自信がない人でも参加しやすいプログラムがあることを知り、挑戦してみようと思ったのがきっかけです。英語でコミュニケーションを取りたいと思ったので、英語圏のレスターに決めました。

印象に残っていることは、ロンドンとオックスフォードの旅行です。事前に教室で学びを深めてから、旅行が出来たので、より一層学びが深まり、とても楽しめました！私が参加した年のDiscovery Programは日本人が6人だったので、日本人同士で分からないことや不安なことを確認することができ、英語でのやり取りは、先生や店員・街の人とコミュニケーションをとる機会が多くありました。

このプログラムでは、3つの授業から構成されていました。土曜日と平日の午後の時間帯に実施されるActivity Program内で役立つ豆知識や日常英会話、歴史の勉強・最終発表のためのポスター制作や発表の練習そして、ロンドン・オックスフォード旅行、アフタヌーンティーの体験、イギリスで有名なスポーツの体験など様々な経験が出来ました。午前中で授業が終わる日もあるので、レスター市内の散策を十分に楽しめました！



留学を考えている人にメッセージ

英語力の自信はゼロ、海外旅行の経験なし、一人暮らしの経験もなし、と留学前は少しの期待と多くの不安がありましたが、プログラム最終日には日本に帰りたくない！レスター最高！という気持ちに変化しました。私にとってこの留学は、今まで生きてきた中で一番濃い3週間を過ごせたと感じ、さらに、自分自身が大きく成長していることを実感できました。留学にチャレンジして本当に良かったと心から思っています。留学してみたいと少しでも考えている人は是非参加してほしいです！不安なことがあれば、グローバル推進課の皆さまや私に聞いてください！（イギリスはご飯が美味しくないという偏見を持っている人も多いですが、美味しいものが沢山ありました！）



プログラムスケジュール (参考例)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
W1	- Arrival Date - Welcome Dinner	- Academic English 1 (Project Introduction) - Everyday English 1 (Small talk) - City Tour	- Academic English 2 (Designing your questionnaire) - Everyday English 2 (Shopping)	- Academic English 3 (Gathering data) - Everyday English 3 (Afternoon Tea) - Afternoon Tea	- Academic English 4 (Findings) - Everyday English 4 (Travelling around)	Day Trip to London
W2	- Academic English 5 (Create core content) - Everyday English 5 (Fast speech) - Curve Drama Workshop	- Academic English 6 (Poster organization) - Everyday English 6 (Eating out) - Academic English 7 - Sports Evening and Buffet	- Academic English 8 (Lecture Prep) - Everyday English 7 (Conversation Skills)	- Everyday English 8 (Richard III) - Lecture - Field trip	- Academic English 9 (Learning Keywords) - Everyday English 9 (Oxford Polite requests)	Day Trip to Oxford
W3	- Academic English 10 (Talking about your poster) - Everyday English 10 (Sport) - Social Activity	Day Trip to Stratford-upon-Avon	- Academic English 11 (Interacting with the audience) - Everyday English 12 (Slang)	- Poster Presentation - Farewell party	Bradgate Park visit and pizza lunch	Departure date



ブリティッシュ・コロンビア大学 イングリッシュ・ランゲージ・インスティテュート 英語・文化研修

📍 カナダ ブリティッシュ・コロンビア州 バンクーバー



時期 2~3月 | 期間 4週間 | 費用 約85万円

大学について

ブリティッシュ・コロンビア大学は、州立の名門総合大学です。1908年に創立され、約66,747人が学んでいます。また、国際的な知名度も高いカナダ屈指の名門大学でもあり、166か国から来た約18,323人の留学生が学んでいます。これまで卒業生の中から3人のカナダ首相、さらに7人のノーベル賞受賞者を輩出しており、カナダの大学のランキングで常にトップ3に入ります。



研修内容

大学内にあるELI (English Language Institute) のASPIREプログラムへの参加を通じて、グローバルなテーマである、環境、文化交流コミュニケーションなどについて英語で学びます。また期間中、現地家庭でのホームステイで英語力のアップを図ります。ELI講師陣は英語を母語としない学生を対象とする教育経験が豊富です。

参加者の声 (教育学部言語教育コース 南 采希さん)

英語の教員になるにあたり、以前から海外留学をしてみたいと考えていました。一方で、一般企業への就職も視野に入れていたため、できるだけ早い段階で留学を経験したいと考え、選考が比較的容易な短期留学を選択しました。留学先としては、比較的親日的な人が多いと感じたことからカナダを選びました。

UBCは自然が豊かで、学習設備も非常に充実しています。また、日本人同士であっても英語でのコミュニケーションが求められる環境であり、日常的に英語を使う機会が多くありました。大学周辺には、観光地であるビーチや美術館、水族館などがあり、休日には現地でできた友人たちと出かけることで、さらにコミュニケーションを深めることができました。ホームステイは、最初は英語が聞き取れず不安もありましたが、帰国する頃にはすっかり打ち解けることができました。家で食事を作ってもらうことが多く、ラザニアをよくリクエストしていました。他にも、外食、ビーチや買い物、ネイルサロンに行ったり、パーティーに参加させてもらったりと、貴重な経験ができました。中には食事提供のないホームステイ先もあると聞きましたが、その場合も相談すればすぐに対応してもらえる体制が整っており、安心して参加できる留学先であると感じました。



留学を考えている人にメッセージ

留学に行ったからと言ってみんなが英語力があがるとは限りません。カナダの人はかなり優しいので出川イングリッシュでも正直何とかなります。ただ、UBCやホームステイ先では英語を話せる環境が整っているの、日本人だけと固まらず色々なところに積極的に出て行って文化や英語に触れて欲しいと思います。今年行けるなら今年行きましょう。来年はきっと就活とか集中講義とかバイトとか他のことがあります。留学を考えている今が決断の時です。楽しんでください！



授業スケジュール (参考例)

Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00am-12:30pm	Morning class	Morning class	Morning class	Morning class	Morning class
12:30pm-1:30pm	Lunch break	Lunch break	Lunch break	Lunch break	
1:30pm-3:45pm	Afternoon class	Afternoon class	Afternoon class	Afternoon class	

1日のスケジュール

7:00	8:00	9:00~12:30	12:30~13:30	13:30~15:30	17:00	19:00~20:00	23:00
起床 朝ごはん	大学へ 出発	授業	ランチ	授業 Speaking	帰宅 夕飯	課題 ホストファミリー と談話	就寝



カンボジアのグローバルヘルス課題解決に 取り組む共同フィールドワーク

📍カンボジア王国 プノンペン都



時期 8～9月

期間 2～3週間

費用 約20万円

研修内容

保健・医療の範囲に限らず、水資源、栄養、食糧、農業、教育、インフラ整備等、健康に影響を与える暮らしの中の様々なグローバルヘルスにかかわる課題の中で、関心があるテーマを選定し、主体的に学習に取り組めます。学内グループワークやプレゼンテーションを経て、事前にフィールドワーク計画を作成します。

カンボジア渡航後は、学生各自のフィールドワーク計画に沿って主体的に活動します。また、本学協定校の王立プノンペン大学、カンボジア工科大学、国際大学の学生との共同フィールドワークや共同討議も実施します。



参加者の声（教育学部障害児教育コース 小川 拓人さん）

この留学の面白さは、自由度だと思います！

現地にいく数か月前から、カンボジアで何がしたいかを考えるところから始まります。決まったカリキュラムはなく、日程から内容まで、先生と話し合いをしながら決定していきます。

僕は教育学部に在籍しており、「カンボジアで、現地の教育について知りたい」と先生に話をしたところ、現地の小学校を見学することができました。事前に作った計画書を元に、通訳さんを通して、校長先生にカンボジアの教育や課題についてインタビューすることができました。この他にも、バイオガスについての取り組みの見学や、地元の経営者にカンボジアの経済についてのインタビュー、首都プノンペンやアンコールワットなどを巡りながらの文化歴史学習など、ジャンルを問わず学ぶことができました。決められたカリキュラムの中で学ぶのではなく、自分のやりたいことから内容を決められ、とても充実した二週間でした。

語学についても、実際に通訳さんと英語でインタビューをしたり、町で英語でコミュニケーションを取るなど、生きた経験を多くすることができ、自分の成長を肌で感じるすることができました。

留学を考えている人にメッセージ

やってみたいことがある方にとってはとても充実した留学になると思います！自分の興味関心から、より深い学びをこの留学では得ることができます。専門分野に関係なく、自分がやってみたいことがあれば、それをカンボジアで行うことができます。英語を使わなければいけない場面や一人で挑戦する機会もあると思いますが、先生のサポートなどを受けながら、多くの経験を行うことができます。行ってみなければわからない発見、感動がきっとあります！

みなさんもぜひ、その感動を現地で味わってみてください！



プログラムスケジュール（参考例）

	内容
1日目	日本発・プノンペン着
2～3日目	オリエンテーション、村活動のための準備、等
4～9日目	農村訪問、学生の計画に沿った各種活動の実施（場合によってはカンボジアの学生との合同調査あり）
10～12日目	プノンペン：市内視察（文化・歴史学習）、カンボジアにて起業等を行っている日本人訪問、カンボジアの学生との交流、など
13～16日目	学生自主企画によるシェムリアップに移動、活動（文化・歴史学習） 現地発（プノンペンまたはシェムリアップ発）予定
17日目	日本着

INTER-UNIVERSITY EXCHANGE PROJECT



大学の世界展開力強化事業 アジア実問題解決駆動AI教育プログラム

アジア実問題解決駆動
AI教育プログラム
ホームページ⇒



杭州電子科技大学 / 釜慶大学校 / マレーシア・ペルリス大学

山梨大学は、令和3年度文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」というプログラムに採択され、中国、韓国、マレーシアの各大学と学生交流を行っています。このプログラムの中では、短期プログラム、サマースクール、中長期留学によるデュアルディグリープログラムなど、様々なスタイルの学生交流を行っています。要件を満たせば、各プログラム費用の補助があるため参加しやすい点が魅力です。

ここでは、全学部・専攻の学生さんが参加できる短期プログラムについて紹介します。さらに詳しくプログラムについて知りたい方はホームページをご覧ください。グローバル推進課にお問い合わせください！

なお、中長期留学については、留学体験記のページに一部紹介を載せてあります。



杭州電子科技大学
Hangzhou Dianzi University

時期

8月

期間

10日間

費用

約20万円



大学について

1956年に中国浙江省の杭州市に設立され、2015年4月に浙江省重点大学に選ばれた公立大学です。理学・工学・管理学・文学・法学・教育学等の多くの学科を総合的に発展させている研究型大学として高い評価を得ており、特に電子情報分野においては、常に中国国内で高いランキングに入っています。

研修内容

中国語学・文化体験の研修に参加します。中国語の授業に加えて、中国の歴史、カンフー、中国茶の授業と体験、中国書道などの体験をします。中国語を全く勉強したことがない方も参加できます。現地の学生との交流に加え、韓国、マレーシアからの3大学参加者と一緒に参加しますので各国の学生とも交流できます。

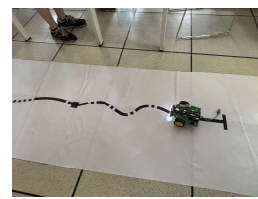
参加者の声（工学専攻応用化学コース 神田 幸輝さん）

これまでの23年間海外に行った経験がなく、社会人になる前に一度は海外を体験してみたいと考え、本プログラムに参加しました。また、所属研究室に中国人留学生が多く、日頃から交流する中で中国への関心が高まっていたことも参加のきっかけです。実際に日本以外の環境で外国語を用いたコミュニケーションに挑戦してみたいという思いから、本プログラムへの参加を決めました。

中国のスケールの大きさが最も印象に残っています。渡航前から人口が多いことは聞いていましたが、実際に現地を訪れると、高層ビルや車・人の量に圧倒されました。留学先では現地の学生が温かく迎え入れてくださり、授業や課外活動を通して多くの交流の機会がありました。彼らの高い英語力に刺激を受けるとともに、発音や文法が不完全でも、ジェスチャーと伝えたい気持ちがあれば意思疎通できることを肌で実感しました。

スケジュールは、日中にプログラミングを活用し、「スマートカー」や、「魔法の杖」の作製を行い、夕方に中国語の授業を受講しました。土日は、西湖や博物館、お茶の体験、企業見学、上海散策などの郊外学習があり、非常に充実していました。授業は中国・韓国・日本・マレーシアの学生やボランティアと共に受講し、グループで協力しながら進めました。専攻外の内容も多かったですが、互いに助け合いながら学ぶことで、コミュニケーションを楽しみつつ新たな学術分野・文化に触れることが出来ました。

本プログラムは、海外留学に興味があるものの、語学力や海外生活の不安、専攻分野との違いから一歩踏み出せずにいる方に特におすすめです！私自身も同様の不安を抱えていましたが、思い切って挑戦したことで、異国の地においても外国語を通じたコミュニケーションが自分でも出来ることを実感できました！初めての留学として、ぜひ参加してみてください！



プログラムスケジュール（参考例）

	Mon.	Tue.	Wed.	Thu.	Fri.	Weekend
Week1	-	Departure from Japan Arrival in China	Opening Ceremony Labo Tour Lecture Field Trip: The West Lake	Language class Lecture Field Trip: Temples	Language Class Lecture Field Trip: Chinese Tea Museum	Free
Week2	Language class Lecture	Language class Lecture Field Trip: The Xixi Wetland National Park	Language class Lecture	Language class Closing ceremony Farewell Lunch	Departure from China Arrival in Japan	-



釜慶大学校

Pukyong National University

時期
8月

期間
10日間

費用
約15万円



大学について

釜慶大学校は4つのキャンパスに約 25,000人の学生を擁する韓国の大規模大学です。ヨンダンキャンパスは、2015年度から企業に全面開放されて、「ドラゴンバレー・キャンパス」と呼ばれ、AI、IoT、ヘルスケア分野に特化した341社が居住する韓国東南部地域の産学連携拠点として注目されています。

研修内容

韓国・釜慶大学校にて文化体験プログラムに参加します。韓国語の授業の他、テコンドーやK-POPなどの身体を動かすものから、お茶や陶芸体験などの伝統的なもの、ミュージアムや世界遺産などを訪れて歴史に触れるものまで、多岐にわたる韓国文化を体験できる授業に参加します。座学ばかりではなく、実際の体験を通して、より深く学ぶことができます。中国とマレーシアからの3大大学参加者と一緒に参加しますので各国の学生とも交流できます。

参加者の声 (教育学部やまなし小学校教育コース 森塚 俊太さん)

研修へ行った国は韓国でしたが、マレーシアや中国の学生も参加しており様々な国の人と交流できること、そして実際の韓国の様子や生活に興味があったため参加しました。

印象に残っていることは、韓国の学生だけでなくマレーシア・中国の学生とも交流できたことです。韓国で生活を共に送っている自国の生活の様子を聞き、日本とはこんなにも違うのかという驚きがありました。また、韓国の観光スポットである文化村とカブセルトレインに行き、写真で見る景色と実際に見る景色は大きく異なり、実際に自分で見て体験することができるという留学のよさに気づきました。

留学先で履修していた授業は韓国語とK-POPダンスです。韓国語未経験で発音の微細な違いに難しさを感じる場面もありましたが、楽しみながら充実した時間を過ごせました。ダンスも未経験でしたが、優しく丁寧な授業のおかげで無事に振り付けを習得し、踊りきることができました。

留学となると、英語を完璧に話せないといけなく、日本とは文化や生活が異なるから現地で生活するのが大変そう、といったハードルを感じる人もいます。しかし韓国は日本と文化が近く、日本語を話せる人もいたため不便なく生活できました。また、英語が流暢でなくても身振りや簡単な表現を使い、話そうという気持ちがあれば現地の人とコミュニケーションできます。留学では現地に行った人しか味わえない体験があり、人としても大きく成長できます。留学を迷っている人は、日本とも文化が近い韓国の交換留学プログラムにぜひ参加してください。



UNIVERSITI
MALAYSIA
PERLIS

マレーシア・ペルリス大学

Universiti Malaysia Perlis

時期
8月

期間
10日間

費用
約25万円

大学について

マレーシア・ペルリス大学は地域を代表する工学系の大学として、特にエレクトロニクスとIR4.0、AIの教育に重点をおき、地域の電子およびITの発展を牽引してきました。

研修内容

マレーシア・ペルリス大学にて語学・文化研修に参加します。マレー語の授業の他、伝統的なコスチューム、舞踊、アート等に触れる授業やオブショナルツアーに出かけます。また企業見学等も行います。現地学生との交流の他、一緒に参加する韓国・中国の学生との交流もあります。

参加者の声 (工学専攻エネルギー物質科学コース 鈴木 晃洋さん)

私が留学を決めた理由は二つあります。一つ目は、自身の視野を広げ国際的な感覚を養うためです。昨年中国への短期留学を経験し、自分が日本という枠組みの中で物事を考えていたことに気がつきました。多国籍の学生と交流する中で、多民族が共生するマレーシアの社会に強い関心を持ち、現地でその文化を体感したいと考えました。二つ目は、工学部生向けのAIワークショップへの参加です。化学系専攻の私はAIの知識がほとんどありませんでしたが、変化の激しい時代に専門外分野にも挑戦したいと思い、参加を決めました。

ペルリスでは、ランカウイ島の雄大な自然や神秘的な湖での体験が特に印象的でした。また、スパイスの効いた鶏肉料理や現地文化に溶け込んだ食生活にも魅力を感じました。研修では、AIコースと文化コースに分かれた活動が行われました。AIコースでは、現地学生の支援のもと基礎からAI技術を学び、デバイス制作に取り組みました。専門外分野に英語環境で挑戦し、最後までやり遂げた経験は自信に繋がりました。学校訪問や国王の式典参加など貴重な経験も用意されていました。

本プログラムの魅力は、短期間で集中的に学べる点と、手厚い金銭的サポートがある点です。また、四か国合同で、多様な学生と交流し、価値観を見つめ直す機会となりました。英語力に不安があっても、挑戦する姿勢があれば遅くありません。留学に行きたいけれど不安が勝ってしまう方こそ、まずはこのプログラムに飛び込んでみてください。



交換留学先一覧

1 学期から 1 年間の期間で海外交流協定大学と相互に学生・研究交流を行う制度です。本学に在籍したまま留学をするので、山梨大学に授業料を納めれば、留学先の協定大学の入学料、授業料、検定料を納める必要はありません。

国・地域 (50音順)	大学名	大学について	語学要件等
英国	オックスフォード・ブルックス大学 (Oxford Brookes University)	近年Sunday Times紙のGood University Guideでベストニューユニバーシティに連続で選ばれている、質の高い研究と教育を誇る大学18学部、160を超えるコースを開講している。	・学部授業履修：IELTS UKVI 6.0以上 (R・W 6.0以上、S・L 5.5以上) ・英語コース+学部授業履修：IELTS UKVI 5.5以上 (R・W・S・L 5.0以上) ・成績：GPA 2.8
オーストラリア	シドニー工科大学 (University of Technology Sydney)	約130の学士、約210の修士コースがある。交換留学プログラムでは学部授業履修プログラム以外に、大学付属機関でオーストラリア文化等の学習を通じて英語を学ぶプログラムもある。	・Most programs：IELTS 6.5(W 6.0) 以上、TOEFL-iBT: 79-93(W 21)以上 ・英語、文化コース：IELTS 6.0 以上(all bands6.0)以上 ・TOEFL-iBT: 60-78以上 ・成績：GPA 2.5
スロベニア	リュブリャナ大学 (University of Ljubljana)	スロベニアで最も大きい大学であり、世界でも最大規模の大学の一つ。法学・経済・文化・工学・生物学・医学等23の学部と芸術関係の3つの専門学校を有している総合大学。	・英語もしくはスロベニア語CEFR B2 以上
タイ	コンケン大学 (Khon Kaen University)	17学部および大学院を有する総合大学。タイ語で受講する学部授業履修プログラム以外に、英語で授業を受講するプログラムもある。	・原則としてタイ語 または ・TOEFL-iBT: 61以上 ・TOEFL-CBT 173以上
台湾	国立陽明交通大学 (National Yang Ming Chiao Tung University)	合併前の陽明大学は医学教育を強みとし、交通大学は台湾の工学分野の教育と研究を牽引してきたトップ研究大学。合併後、陽明大学と交通大学の強みと特色を融合し、5つの郡と市に9つのキャンパス、19の学部、1,400人の教員と17,000人の学生をもつ総合大学となった。	学部・学科により異なりますのでグローバル推進課にお問い合わせ下さい
中国	杭州電子科技大学 (Hangzhou Dianzi University)	工学系のみならず、学部は57、大学院は70ものプログラムを提供している。理学、工学、管理学、文学、法学、教育学などの多学科を総合的に発展させている研究型大学で高い評価を得ている。	・中国語検定 (HSK) 4級以上、または、 ・TOEFL-iBT80以上 ・IELTS 5.5以上
中国	外交学院 (China Foreign Affairs University)	外交、国際政治、経済、国際法、外国語などの学部を中心とした、将来外交に携わる人材を育成するエリート学校で、多くの外交官や国際問題専門家を輩出している。	・中国語能力試験HSK4級以上、又は、同等レベル ・英語授業を受ける場合英語能力保持者
中国	西南交通大学 (Southwest Jiaotong University)	国家重点大学の1つとして指定されている総合大学。とくに土木工学、機械工学、電気工学、計算機応用工学、通信工学、交通工学、材料、建築及び管理学等の学科分野で高い評価を得ている。	原則として中国語。修士課程の授業では英語もあり。
ドイツ	ドレスデン工科大学 (Dresden University of Technology)	ドイツでも極めて歴史ある工科大学だが、現在では数学を含む自然科学、環境科学、人文科学、社会科学、医学も提供する総合大学。	・ドイツ語能力：CEFR B1レベル以上 または、 ・英語能力：CEFR B1 ～B2 レベル以上
ドイツ	ゲオルグ・ジモン・オーム工科大学 ニュルンベルク (Technische Hochschule Nuernberg, Georg Simon Ohm Germany)	実践志向の教育を重視した名門の応用科学大学。工学、情報学、経済学、デザイン、社会科学などの分野で幅広い学士号および修士号プログラムを提供している。工学、情報学、経済学などの分野においては英語で授業を受講することが可能。	・ドイツ語能力：CEFR B2レベル以上 ・英語能力：TOEFL-iBT 80以上 またはこれと同等のレベル (学科等により異なりますのでグローバル推進課にお問い合わせください。)
フランス	リヨン第三大学 (Jean Moulin Lyon 3 University)	フランス第二の都市リヨンに位置する文系大学。フランス語で受講する学部授業履修プログラム以外に、英語で授業を受講するプログラムもある。	・フランス語能力：原則として、B1以上 または、 ・TOEFL-iBT 80以上 (W・R・S・L 全て20以上) ・IELTS 6.5 (W・R・S・L 全て6.0 以上)
米国	イースタン・ケンタッキー大学 (Eastern Kentucky University)	教育系の専攻分野が特に充実しているほか、ビジネスや理系科目も広く開講しており、幅広い分野の学習が可能。	・TOEFL-iBT 71以上 (いずれのセクションも16点未満がないこと) ・TOEFL-ITP 530 以上 ・TOEFL-CBT 195以上 ・IELTS 6.0 以上 (いずれのスキルにおいても、5.0以上であること)

(一部の参考情報を掲載しています。詳細については、学内掲示版CNSまたはグローバル推進課にて、最新情報を必ずご確認ください。)

留学を思い立ったら・・・

- 留学には通常1年～1年半程の準備期間が必要です。大学生活の**早い段階から準備**を開始することが**留学実現のカギ**です。留学に関心を持ち始めたら、**グローバル推進課**まで相談に来てください！
- プログラムの申請には、**TOEFL**や**IELTS**などの語学試験の点数が必要です。日頃から外国語に触れる機会を作り、気軽に今の英語力を測ることができる学内TOEFL (TOEFL-ITP、年1回実施) を受験し、目標を設けて**積極的に語学力の向上に努めてください**！学内では、留学生と英会話を楽しんだり、日常的に外国語や海外の文化に触れることのできる**G-フィロス (グローバル共創学習室 (B1-221))**もありますので、ぜひ活用してください。
- 各大学の応募資格詳細は、国際化推進センター・グローバル推進課ホームページ、または、新入生ガイダンス資料をご参照ください。

留学体験記

留学先

英国



オックスフォード・ブルックス大学

水野 ひなさん

教育学部言語教育コース

留学したきっかけ

将来英語教員になるのに英語が喋れないのはカッコ悪い！と思ったことがきっかけです。また未知の世界に飛び込むことによって自分は何を感じるのかなど、自分の価値観を確かめたいという思いがありました。そこで留学中は、スピーキング力の向上と自分を知ること目標に生活していました。

留学して良かったこと

様々な国からの学生が集まるので、英語アクセントの多様性に最初は戸惑いました。けれど、その違いがあって当たり前だ、というオックスフォードの受容的な温かい雰囲気が私は好きでした。また、学校内外で学生のためのイベントが多かったことが印象的です。放課後、よく友人と無料フード目的でイベントに参加していましたが、そこでの出会いが留学生生活を豊かにしてくれました。

履修した授業

○英語コース（3か月） / 月～金 9:00-13:00 / 英語4技能、ディスカッション、プレゼンテーションスキル等、大学の授業履修に必要なスキルを磨く

○学部授業（約4～5か月） / 1コマ2～3時間×週4 / 自身の本専攻が教育であったため、ビジネスコース以外であればどの分野からも選んで受講できました。中でも、日本語コースの学生とペアを組んで英語と日本語を練習する授業はとても画期的で役に立ちました。

留学を考えている人に一言

留学をするのに立派で大きな理由はいらないと思います。経験することが大事だと思うので、少しでも気になったら早めに相談、行動してみてください。



留学先

ドイツ



ドレスデン工科大学

藤原 エレナさん

工学部応用化学科

留学したきっかけ

高校時代の10か月間のドイツ留学において、現地高校の教育方法や生徒の意欲や積極性に圧倒された経験から、このような刺激的な環境で再び学び、自発的な行動を常に意識し、自分の成長に繋がっていきたくて思ったからです。また、ドイツは私が専攻・研究している化学分野で長けていたり、国民の環境問題への意識が高かったりと最先端の化学技術を学ぶのに最適だと思ったこともドイツへの留学を決めた理由の一つです。

履修した授業

主要元素化学、基礎数学、基礎物理化学、物理、一般化学及び分析化学、ドイツ語、英語、セミナー、演習、実験の授業を履修しました。

留学して良かったこと

世界中から留学生が集まっており、それぞれの文化や習慣を共有したり、価値観や宗教の違いを話したりすることであらゆる視点から物事を考えることができるようになりました。同時に英語でコミュニケーションをすることが多く、改めて英語の大切さに気が付き、より一層英語力向上に努めるべきとだと感じさせられました。授業では自分の意見や考えを発表することが多く、以前よりは躊躇することなく発言ができるようになりました。また、授業はドイツ語で行われるため、ついていくことが大変ですが、少しずつ理解できる範囲が増えて自分の成長を感じられます。

休日の過ごし方

寮の友達と各国の料理を作りあって食べたり、ドイツ国内・国外へ旅行したり、サッカーの試合を見にいたりとても充実しています。11月後半～12月には各地のクリスマスマーケットを巡り、地域や国による違いを発見することができ、とても楽しかったです。課題が多い時やテスト前などは友達と図書館で勉強をしました。

留学を考えている人に一言

様々な人と会うことでたくさんの刺激を受け、考え方が変わりますので、自分を成長させるチャンスだと思います！海外の良さだけでなく、日本の魅力にも気が付けるようになると思います。ドイツ留学であれば勉強の合間に他のヨーロッパの国々にも容易に旅行できるので、沢山の学びが得られてとても楽しいです！



留学体験記

留学先

米国



イースタン・ケンタッキー大学

鄭 海欣さん

工学部メカトロニクス工学科

留学したきっかけ

元々海外留学に興味があり、異なる文化の中で学んでみたいという思いを持っていました。中国語と日本語を話せる自分にとって、英語も身につけることで将来のキャリアの選択肢をさらに広げられると考えたことが、留学を意識するきっかけです。また、高校時代に多くの友人が留学に挑戦している姿を見て刺激を受け、自分も新しい環境に飛び込み成長したいと考え、交換留学を決意しました。

履修した授業

留学先では、数学、統計学、品質管理、社会教養学、栄養学といった幅広い分野の授業を履修しました。時間割は自分で自由に組むことができ、授業のない日をあえて作り、その日は英語学習や課題に集中するなど、主体的に学習計画を立てていました。工学系の品質管理の授業では、学んだ品質管理手法の多くが日本発祥であることを知り、授業中に日本語の専門用語が登場する場面もあり、とても印象に残っています。改めて、日本の技術力や品質管理の高さが世界で評価されていることを実感しました。また、以前から興味があった栄養学の授業を現地で履修できたことも大きな収穫です。食品に含まれる成分や栄養素などの専門用語を英語で理解することには苦労しましたが、その分、専門分野の語彙力を高める貴重な経験となりました。



キャンパスライフ

学内にはスターバックスがあり、カスタマイズした大きなサイズのドリンクを片手に、もう一方の手には2Lの水筒を持って授業や図書館へ向かう光景が日常でした。アメリカ限定のメニューやカスタマイズも多く、事前にインターネットで調べて実際に注文することで、自然と英語でのやり取りにも慣れていきました。今では一番スムーズに話せる英語はスターバックスの注文かもしれません。また、多くの学生が学内のジムを積極的に利用しており、早朝や夜など自分の生活リズムに合わせて運動する姿が印象的でした。高い自己管理意識を持つ学生が多く、私自身も影響を受けて週に3~4回授業後にジムを利用していました。

留学を考えている人に一言

留学に行くかどうかは、多くの人が悩むと思います。将来、仕事で海外に関わる機会があったとしても、学生の内に経験する留学は全く別物であり、今だからこそ得られる貴重な経験だと感じています。私自身、出発前は「友達ができるだろうか」「英語が上達しなかったら時間の無駄になるのではないか」といった不安を抱えていました。しかし、不安に目を向けるのではなく、その一歩を踏み出した先で自分がどのように成長しているかを想像するよう心がけました。実際に留学してみると、想像以上に周囲の人はフレンドリーで、楽しく充実した日々を過ごすことができました。多くの不安は、行動してみることで自然と解消されるものだと思います。迷っている方は、ぜひ勇気を出して挑戦してみてください！

留学先

スロベニア



リュブリャナ大学

岡本 瑤平さん

生命環境学部地域食物科学科(ワイン科学特別コース)

留学したきっかけ

幼少期に台湾で生活していたこともあり国際交流へのモチベーションが高く、英語力向上を第一目的として留学を志しました。自身の憧れであるヨーロッパでの暮らしができ、グローバル化が進む現代社会を生きる上で海外経験というのは重宝されやすい人材であり、社会的ニーズに応えられると考え、スロベニアへの留学を決めました。ほとんどの日本人が訪れることのない国での暮らしは、自分にとって貴重な経験になったと思います。

履修した授業

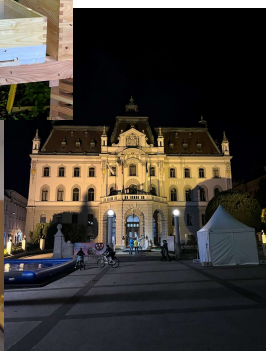
前期ではワインの醸造やブドウ栽培について、後期では養蜂の授業を履修しました。ブドウ栽培の授業では、各々自国のワインについて発表を行い、英語での発表はとても緊張しましたが、今後の自分を支える経験になりました。スロベニアの特産品として蜂蜜が販売されており、養蜂について学ぶのはとても興味深かったです。ミツバチの生態を学び、解剖や蜂蜜の収穫の体験は、留学ならではの授業でした。

キャンパスライフ

開始当初は自身の英語力に焦燥感を覚えましたが、バレーボールを通じて友達を作ることができました。うまく話せずともプレーと雰囲気交流することができるため、スポーツを通じたコミュニケーションは精神的に楽になりました。授業では専門用語に苦労し、実験では内容を理解するのに時間がかかりましたが、先生やクラスメイトに聞くことで優しく教えてくれるため自分の気持ち次第で状況は変えられると実感できました。期間中に旅行で18カ国と、ヨーロッパ留学は各国に短時間で訪れることができるのも良い点だと思います。

留学を考えている人に一言

社会人になってからの海外生活では、コミュニティの作りやすさや、時間などの点で難しさが変わると思います。早めの大きな人生経験によって将来設計が変わることもあると思います。金銭面ではスロベニアは奨学金ももらいやすく、学割もあるため留学に適していると思います。知らない国・言語・文化での生活は刺激にあふれたとても楽しい経験でした。学生という自由な時間を有意義に過ごし、今後の長い人生に良い影響を与えましょう！



留学体験記

留学先

オーストラリア



シドニー工科大学

丸山 美菜子さん

教育学部言語教育コース

留学したきっかけ

私は中学生の頃から英語教師になることが夢でした。そのため、実際に海外に行き、自分の英語力や価値観を高めたいと思い、長期留学を決断しました。また、多国籍の友達を作り、アメリカ英語だけではなく様々な英語に触れてみたいと思ったため、多文化社会が進んでいるオーストラリアを選びました。UTSというシドニーの中心にある大学で勉強したことによって、沢山の友人が出来、とても充実した留学生活になりました。

履修した授業

英語・文化コースでオーストラリアの歴史・働き方・環境問題等を中心に勉強をしました。アボリジニの歴史や地球温暖化による自然の影響等、とても興味深い授業ばかりで楽しかったです。授業は、生徒同士で議論したり発表したりする機会が多く、日本の大学との授業の違いに驚きました。先生も優しく、分からないことはすぐに質問していました。授業は週に2回とあまり多くなかったため、空いている時間に予習と復習にしっかり取り組みました。

キャンパスライフ

UTSはとても大きい大学でサークル活動や留学生のためのイベントがとても充実していたため、すぐ友達が出来ました。大学内の図書館やカフェ、勉強スペースがとてもたくさんあり、勉強に集中できたのもとても良かったです。私はUTSのバドミントンサークルに所属していましたが、毎週いろんな国籍の人とスポーツを通じて繋がることができ、とても楽しかったです。アルバイト、勉強、旅行、遊びを全力で行うキャンパスライフはとても楽しかったです。

留学を考えている人に一言

ずっと憧れていた留学でしたが、留学に行く前は不安だらけでとても迷っていました。しかし、実際に行ってみたら、なぜ迷っていたのか不思議なくらい毎日がわくわくの連続で楽しかったです。少しでも行ってみたいという心があるなら、迷わずに行動に移してほしいです！大学の手厚い支援の下で安心して留学に行けるのはこの交換留学の強みだと思います。みなさんも是非自然豊かなシドニーでの刺激的なキャンパスライフを体験してほしいです！



留学先

韓国



釜慶大学校

※A3I中長期

大石 拓哉さん

工学専攻コンピュータ理工学コース

留学したきっかけ

学部4年生から所属している研究室が留学生の多い環境で、英語が必要なのに自分は全然しゃべれない、という課題を強く感じたのがきっかけです。「英語を勉強する」だけでなく、「英語を使って生活する経験を積みたい」と思い留学を決めました。ただ、当時はまだ英語に自信がなかったため、英語ネイティブの国に行くよりは、地理的にも文化的にも近くて、私の研究内容とも親和性が高かった韓国を選びました。

履修した授業

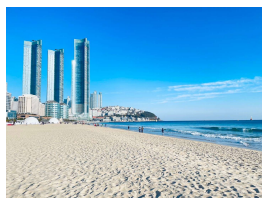
平日は研究室生活が中心で、特に私の研究室は10時～18時がコアタイムだったのでその時間は研究に集中していました。個人的にコアタイムがあるほうがメリハリがつくので良かったです。授業はAI論文を読んで発表するものや、機械学習の基礎、そして韓国語基礎（文字の読み書きレベル）を履修しました。研究室では週に1回、進捗ミーティングがあり、最初は専門用語の英語が出てこなくて苦労しましたが、後半は言いたいことをなんとか一通り英語で伝えられるようになりました。また、寮では朝昼晩と毎日3食提供されるので、研究室の留学生仲間と毎日雑談しながら食事を楽しんでいます。

キャンパスライフ

印象に残っているのは、研究や授業そのものよりも「英語で友達を作ってつながりを広げた経験」です。日本では留学生と話す時どこかホームの感覚があって、大体的場合、相手は日本の文化や日本語を多少知っているので話しやすかったのですが、韓国では自分がアウェイの状況になるので、話す相手の国の文化を深く理解することが大事でした。最初は相手が何を言っているのが聞き取れないことも多々あったのですが、研究室の仲間や寮の食堂で出会った留学生と毎日会話するうちに慣れてきて、世界がどんどん広がっていく感覚がありました。今まではアジア圏以外の人とはあまり話したことがありませんでしたが、韓国では多様な国（アフリカのセネガルなど）から来た学生とも交流できたのが大きな刺激になりました。

留学を考えている人に一言

「海外で住むのは怖い」と感じているけれど、将来的に英語を話せるようになりたい。研究生活も両立したい。そんな人に韓国の中長期留学がぴったりです。治安が非常に良く、人も優しく、海×都会の環境が最高で、とにかくご飯が美味しいです。韓国語が話せなくても4ヶ月間しっかり楽しめました（もちろん少し分かったと便利です）。応募前は不安でも、実際に行けば何とかなります。迷っているなら、絶対に応募してみることをおすすめします。



年間スケジュール

参加するプログラムを決めたら、計画的に準備を進めましょう！

月	夏季・春季海外研修	交換留学	説明会などイベント
4	夏季海外研修申込期限（4月下旬）	情報収集！ 大事です！	・夏季海外研修プログラム説明会 ・個別相談会 ・JASSO奨学金申込（夏季）
5	渡航前の集中講義授業開始 《G-フィロスで英会話練習も！》		
6	出発前の準備で安心！		
7			
8	◆ノーザン・アイオワ大学研修（8月～9月） ◆レスター大学研修（8月） ◆杭州電子科技大学研修（8月） ◆釜慶大学校研修（8月） ◆マレーシア・ペルリス大学研修（8月） ◆カンボジアのグローバルヘルス 課題解決に取り組む共同フィールドワーク（8月～9月）	秋学期スタート留学生 順次出発	
9	春季海外研修募集開始	9月1日 学内申込締切	
10	春季海外研修申込期限（10月末）	情報収集！ 大事です！	・春季海外研修プログラム説明会 ・個別相談会 ・JASSO奨学金申込（春季）
11	渡航前の集中講義授業開始 《G-フィロスで英会話練習も！》		
12		翌年度留学用 募集要項公開	山梨大学留学応援プログラム 奨学金申請開始
1		春学期スタート留学生 順次出発	山梨大学留学応援プログラム 奨学金申請期限（1月末）
2	◆ブリティッシュ・コロンビア大学 イングリッシュ・ ランゲージ・インスティテュート研修（2月～3月） ◆ケンタッキー大学研修（2月～3月） ◆ノーザン・アイオワ大学研修（2月～3月）		その他の奨学金は提出時期 などCNS(学内電子掲示板) で確認しよう
3		3月1日 学内申込締切	

現時点での予定です。時期等に変更になることもありますので、詳細は決まり次第、CNSでお知らせします。定期的にご確認ください。

国際化推進センター・グローバル推進課について

山梨大学海外研修・交換留学 担当教員

国際化推進センター教員 布村猛

場所：甲府東キャンパスB-1号館2階 布村研究室（B1-216）
連絡先：（メール）tnunomura@yamanashi.ac.jp
（電話）055-220-8709



海外研修・交換留学についてどんな小さなことでも気軽にご相談ください。
直接研究室にお越しいただいてもいいですし、メールでも結構です。

海外研修・留学/英語学習相談・各種英語試験対策はこちら

場所： 甲府東キャンパスB-1号館2階
英語学習アドバイザー室（B1-223）

英語学習・留学相談&プライベート英語レッスン予約
→URL: <https://www.ciee.yamanashi.ac.jp/reservation>



あなたにぴったりの留学スタイルを一緒に見つけましょう！
留学準備の英会話・各種英語試験対策のレッスンも行っています！

各種手続きに関してはこちら

場所： 甲府東キャンパスB-1号館2階
グローバル推進課（B1-225）

連絡先：（メール）yu-study-abroad@ml.yamanashi.ac.jp
（電話）055-220-8703/8047

奨学金に関する情報はここでもらえます！
手続きや書類準備のサポートをします！



甲府東
キャンパス
B-1号館2階

発行者/山梨大学国際化推進センター・教学支援部グローバル推進課

発行年月/2026年3月

※本パンフレットに掲載されている情報は2026年3月現在のものであり、変更になる場合があります。

